

ちくたくネットで連携強化！ 多久市の充実した地域包括ケア体制

医療・介護専門職が強固に連携し、多久市の地域包括ケア体制を充実させている「ちくたくネット」。

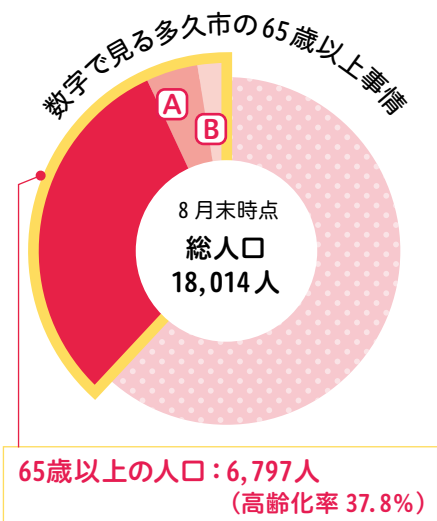
民生委員からの提案も受けながら、さまざまな活動に励んでいます。

9月からは「てらこ屋ちくたく塾」をスタート。

市の医療・介護制度を市民のみなさんにより伝えるために行っている取り組みを紹介します。

ちくたくネットとは！

多久市在宅医療・介護連携推進ネットワークの愛称。
時計の針がチクタクと進むように少しずつでも前進していこうという思いが込められています。



- A … 要介護認定者：794人
- B … 要支援認定者：423人

ちくたくネットは、専門職のみなさんや各施設長、相談員、そして民生委員からなる地域包括ケアのネットワーク。平成26年の設立以来、切れ目のない在宅医療と介護サービスを提供されています。職種ごとの部会で定例会を開き、課題を確認。全ての部会が集まる「多職種研修会」では各部会の意見を聞き、強みを知り、研修会後の活動に生かしています。こうした機会があることで、医療・介護専門職同士の連携強化を図っています。

今年度の活動テーマは「ひろう、つながる、わかりあう」。市民のみなさんや医療・介護専門職の声を拾い、つながり合い、そして分かり合えるようなより細やかな地域包括ケアをめざしています。

誰もが必ず直面する、医療・介護の問題。その中に「在宅」という選択肢を持ち、本人も家族も望んだ生活ができるよう、さらに充実した地域包括ケア体制の整備をしていきます。

職種の垣根を越え、暮らしの安心を支える

ちくたくネットの各部会をご紹介します！

各部会でレベルアップを図るほか、職種の垣根を越えて交流しています。

民生委員も参加！

市民のみなさんを代表し、市民目線で提案。よりニーズに沿った取り組みができるようになりました。



通所系部会
(デイサービス・デイケアなどの事業所)
各事業所の特色をまとめたリーフレットを作成。利用者に役立つ情報をお届けできるよう取り組んでいます。

訪問看護部会
講習会などを通じて訪問看護の役割を啓発。これからも部会員が密に連携し、より良いサービスを提供していきます。

ケアマネジャー部会
利用者とは専門職の架け橋となるよう尽力。自立した暮らしを支えるサービスを届けられるよう、調整します。

ソーシャルワーカー・病院・施設部会
前年度は災害をテーマに『医療版災害マップ』を作成。今年度は専門職のスキルアップをめざし、研修会を予定しています。

ヘルパー部会(訪問介護事業所)
自宅での穏やかな暮らしを支えるため、介護保険制度の中でどのようなケアが最適かを日々研究しています。